

交通バリアフリー教室 in 水戸市立稲荷第二小学校

茨城運輸支局では、令和7年10月21日（火）に水戸市立稲荷第二小学校の4年生35名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和7年10月21日（火）10:15～11:40
- 場 所：水戸市立稲荷第二小学校
- 参加者：4年生 35名
- 主 催：茨城運輸支局、水戸市
- 協 力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕、
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- まとめ
(体験してわかったこと、難しかったこと、
良かったこと)



参加者の感想

- ・スロープを降りる時がすこしこわかった。
- ・高齢者疑似体験をしてみて自分の祖母の気持ちがわかりました。
- ・車いすでは手伝ってもらわないと大変だし、乗っている人はとてもこわいと思った。
- ・介助するのは、何かするたびに言わなければならなかったり、気配りが大変だった。
- ・車いすのコントロールが大変で、乗っている人が心配になった。
- ・介助者は責任重大だと思いました。
- ・手伝いが必要な理由が質問や行動をとおして分かった。
- ・「手伝いますか」と声かけをしていきたい。
- ・車いす体験は少しこわかったけど体が不自由な人の気持ちが分かった。
- ・運転手さんは、車内の人が大丈夫か確認して運転している。
- ・困っている人がいたら助けたい。